

第八十二回
帝國議會
貴族院

恩給法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

恩給法中改正法律案
 東北興業株式會社法中改正法律案
 日滿地方稅徵收事務共助法案
 明治四十年法律第二十五號廢止法律案
 大正九年法律第五十三號中改正法律案
 北支那開發株式會社法中改正法律案
 中支那振興株式會社法中改正法律案
 占領地軍政官憲ノ爲シタル行爲ノ法律上ノ效力等ニ關スル法律案
 會計檢査院法中改正法律案

委員氏名

委員長 伯爵堀田 正恒君
 副委員長 男爵關 義壽君
 公爵山縣 有道君
 子爵大岡 忠綱君
 子爵松平 親義君
 男爵今園 國貞君
 村上 恭一君
 下條 康麿君
 吉田 茂君
 堀切善次郎君
 山上 岩二君
 飯塚 知信君

昭和十八年一月二十九日(金曜日)午前十一時十八分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、先ツ恩給法中改正法律案ニ付テ政府ノ御説明ヲ仰ギマス

○政府委員(森山銳一君) 恩給法中改正法律案ニ付キマシテハ、昨日日本會議ニ於テ大

第四部第一類

恩給法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號 昭和十八年一月二十九日

貴族院

一

體ノコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、茲ニ稍、詳細ニ御説明申上ゲタイト思ヒマス、今回ノ改正ハ、數點ニ互ツテ居リマスガ、其ノ第一點ハ、恩給事務ノ簡素化デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、先ツ恩給金額分擔ノ規定ヲ當分ノ内停止スルコトト致シマシタ、現行法デハ、恩給ハ原則トシマシテ、公務員ニ最後ニ俸給ヲ給シマス經濟、即チ國庫ナリ、府縣ナリデ負擔スルコトトナツテ居リマスガ、内部關係デハ、公務員ニ俸給ヲ給シマシタ經濟相互間デ、其ノ恩給金額ヲ分擔スルコトニナツテ居ルノデアリマス、例ヘバ府縣ノ巡查ノ恩給ハ府縣ノ負擔デアリ、軍人ノ恩給ハ國庫ノ負擔デアリマシタ、巡查ノ十年、軍人ヲ五年在職シマシタ者ニ巡查トシテ恩給ヲ給スル場合ハ、府縣デ恩給ヲ給シマシテ、其ノ内部關係デハ府縣ハ國庫ニ對シマシテ、軍人ノ在職五年ニ相應スル分擔額ヲ請求スルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ分擔事務ハ甚ダ複雑煩瑣デアリマシテ、多クノ人手ヲ要シマスノデ、戰時下人手節約ノ目的デ、此ノ事務ヲ當分ノ内停止スルコトニ致シマシタ、之ガ改正法律案ノ附則第三條ノ規定デアリマス、而シテ各經濟間ノ負擔ノ不均衡ヲ生ジマスモノニ付キマシテハ、別途財政上ノ措置ニ依ツテ是正致スノデアリマス、次ハ恩給金額ノ基礎トナリマス俸給ニ關スル規定ノ改正デアリマス、現行法デハ、恩給金額ハ公務員ノ退職前一年内ノ俸給總額ヲ基礎トシ、尙公務傷病ニ因ル死亡又ハ退職ノ場合ハ一級、其ノ他ノ場合ハ二年据置ノ

後ニ爲サレマシタ昇給ニ限リ一級ノ昇給ヲ認め、之ヲ基礎トシテ計算スルコトニナツテ居リマスガ、前者ノ場合ニ二級以上、後者ノ場合退職前一年内ニ二級以上昇給シタル者ハ、其ノ一年内ニ受クル俸給月額ヲ合算シタルモノヲ以テ俸給總額トシ、之ヲ基礎トシテ恩給金額ヲ算出スルコトニナツテ居リマス爲、之ニ依ツテ恩給計算事務ガ非常ニ複雑トナツテ居リマスノミナラズ、又戰死ノ際、拔群ノ功績ニ依リマシテ二階級モ進級シ、軍神ト仰ガレルヤウナ人々ノ場合デモ、現行法デハ一階級ノ進級ダケシカ認メテ居リマセヌカラ、此ノ進級シマシタ階級ノ俸給額ガ其ノ儘恩給金額計算ノ基礎トナラズ、甚ダ遺憾ナ點ガアリマスノデ、今回ハ原則トシマシテ、恩給金額ハ退職當時ノ俸給額デ計算スルコトト致シタノデアリマス、改正法律案ノ第六十條乃至第六十四條等ノ規定ガ是レデアリマス、併シナガラ此ノ原則ヲ一貫致シマス、退職直前ニ極メテ大幅ニ昇給シマシタ場合ハ、恩給金額モ亦之ニ伴ツテ多額トナリマシテ、均衡ヲ失スルヤウナコトニモナリマスノデ、改正法律案ノ第五十九條ノ二ノ改正規定デ之ヲ制限シ、退職又ハ死亡前一年内ニ如何ニ大幅ニ昇給シマシテモ、公務傷病ニ因ル死亡又ハ退職ノ場合ハ二級ヲ、其ノ他ノ場合ハ一級ヲ限リ之ヲ認ムルコトトシマシテ、適正ナ恩給金額ヲ算出シ得ルヤウニ規定ヲ改メマシタ、斯クノ如ク第五十九條ノ二ニ恩給ノ基礎俸給ヲ變更シマス、自然扶助料額ノ計算ノ方法モ之ニ伴ツテ變更シナケレバナ

リマセヌノデ、之ニ必要ナ改正ヲ致シマシタ、第七十五條ノ改正規定ガ是レデアリマス、尙右ノ如ク恩給ノ基礎俸給ヲ改正致シマス、改正法ニ依ル年金恩給金額ガ従前ノ額ヨリ多額トナル場合モアリマスノデ、大東亞戰爭ノ勃發シマシタ昭和十六年十二月八日以後本法施行前ニ戰死シマシタリ、公務傷病ノ爲ニ退職シマシタ者ノ年金恩給多額トナル場合ハ、改正法施行ノ日カラ之ヲ増給スルコトト致シマシタ、本法律案附則第五條ノ規定ガ是レデアリマス、第二ノ點ハ、公務員デアッタ者ガ外國政府職員トシテ就職シ、更ニ之ヲ退職シマシテ公務員トシテ再就職シマシタ場合ニ、外國政府職員トシテノ在職年ヲ公務員ノ恩給年限ニ通算スル規定ヲ設ケタコトデアリマス、御承知ノ如ク近時公務員ガ、本屬廳ノ承認ヲ受ケ外國政府職員トナリマス者ガ増加致シマシタガ、是等ノ者ハ謂ハバ政府ノ命令デ外國政府職員トナリマスモノデアリ、又公務員ノ官等ニ付キマシテハ既ニ外國政府職員在職年ヲ通算シテ居リマスノデ、此ノ種ノ在職年ヲ恩給年限ニ通算致シマスノガ適當デアルト考ヘマシテ、外國政府職員トシテノ在職年ヲ公務員ノ在職年ニ通算スルノ途ヲ拓クコトト致シタノデアリマス、本法律案ノ第八十二條ノ二及ビ第八十二條ノ三ノ規定ガ之ニ關スル規定デアリマス、尙改正法律案施行前ニ外國政府職員トナリマシタ者ニモ、此ノ通算ノ恩典ヲ及スベキデアルト考ヘマシテ、必要ナ規定ヲ設ケマシタ、改正法律案ノ附則第六條ノ規定ガ是レデアリマス、次

ハ昨年陸軍デハ、敵ノ空襲ニ備ヘマシテ防衛召集ノ制度ヲ設ケマシタガ、此ノ種ノ召集ニ因テ部隊ニ編入サレマス軍人ノ在職期間ハ、現在ノ情況デハ比較的短期間ナルト考ヘラレマスノデ、此ノ場合ノ在職年ヲ現行法ノ一般ノ計算方法、即チ月ヲ單位トシマシテ計算スルノガ適當デアリマセヌノデ、在職年計算ノ特例ヲ設ケ得ルヤウニ致スノデアリマス、改正法律案第二十八條ノ二ノ規定ガ是レデアリマス、尙今回官廳職員優遇制度ノ創設ニ依リマシテ、巡查ヤ看守等デ從來判任官待遇デアリマシタ者ガ、新ニ判任官ニナリ得ルノ途ガ拓カレルコトニナリマスノデ、恩給法第二十三條、第二十五條及ビ第二十六條ノ規定ヲ改正致スノデアリマス、以上申上ゲマシタ外ニ、恩給法第十六條ノ規定ヲ改正致シマシテ、文官デハアルガ俸給ハ府縣其ノ他ノ地方經濟デ給シマス者ノ恩給ヲ、當該府縣其ノ他ノ地方經濟デ負擔セシムルコトガ出來ルヤウニシ、又教育職員ノ一時恩給デ、從來市町村又ハ之ニ準ズベキ地方經濟ノ負擔ニ屬シテ居リマシタ一時恩給ヲ、府縣又ハ之ニ準ズベキ地方經濟ニ於テ負擔セシムルコトトシ、更ニ本年四月カラ師範學校制度ノ改正ニ依リマシテ從來道府縣立デアリマシタ師範學校ガ官立ニナリマスノデ、必要ナ改正ヲ爲シ、又夫又ハ成年ノ子ニ給スル扶助料及ビ兄弟姉妹ニ給スル一時扶助料ノ給與條件ヲ緩和シマシテ、是等ノ者ヲ扶養スル者ガアリマシテモ、生活困難ナ者ニハ恩給ヲ給スルコトガ出來ルヤウニ改メ、更ニ昨年海軍ノ下士官兵ノ官職名ガ改正セラレマシタノデ、之ニ伴ヒ必要ナ改正其ノ他規定整理等ノ爲ニ改正ヲ致スコトト府ナッタノデア

リマス、以上ニ依リ大體本法律案ノ説明ヲ終リマスガ、尙詳細ノ點ハ御質問ニ應ジテ御答ヘ致シマス、何卒御審議ノ程ヲ御願ヒ致シマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデハ東北興業株式會社中改正法律案ニ付テ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(森山銳一君) 東北興業株式會社中改正法律案ノ提案理由ニ付キマシテハ、本會議ニ於キマシテ其ノ大要ヲ申述ベタノデアリマスガ、更ニ其ノ内容ノ大體ニ付テ御説明申上ゲタイト存ジマス、東北興業株式會社ハ、昭和十一年十月創立以來、專ラ其ノ使命ノ達成ニ努メテ參リ、現在、現在ト申シマスノハ昭和十七年十二月末デアリマスガ、關係投資會社ハ五十、之ニ對スル會社出資額ハ九千三百餘萬圓ニ達シ、直營事業ハ其ノ數十九、計畫資金約一千七百萬圓デアリマシテ、投下資金總額約一億一千萬圓ニ達シテ居ルノデアリマス、然ルニ現下ノ情勢ハ、資源ノ開發ト物資ノ増産トヲ圖ルノ要益、大ナルモノガアリマスノデ、同社ハ今回東北振興ト時局ノ要求ニ對應シマシテ、更ニ事業ノ擴充ヲ計畫シ、昭和二十三年度迄ニ既ニ投下シタ資金ヲ合シ總額約二億七千五百萬圓ノ資金ヲ以テ、重點的ニ化學工業、機械工業、鑛山事業、農水産業等ヲ遂行スルコトヲ致シタノデアリマス、而シテ之ニ對スル資金ハ株式、社債、借入金等ヲ以テ調達スル計畫デアリマスガ、現在ノ同社ノ資本構成ヲ以テシマシテハ、前述ノ計畫ヲ圓滿ニ實行スルニハ困難ヲ來シマスノデ、其ノ資本金三千萬圓ヲ五千萬圓ニ増加シ、社債發行限度モ從前通り拂込ミタル株式金額ノ五倍トシ、尙資金調達ノ圓

滑ヲ圖ル爲、東北興業債券ノ元本ノ償還及利子ノ支拂ニ付テハ政府ガ保證ヲ爲シ得ルコトトシ、約三億圓ノ資金ヲ以テ之ニ充當スルコトヲ致シタイノデアリマス、更ニ御承知ノ如ク同社ハ其ノ使命ニ鑑ミマシテ、早急ニ利益ヲ望ムコトハ困難ナルノミナラズ、豫定ノ配當ハ之ヲ維持セネバナラヌ事情ニアリマスルノデ、増資額二千萬圓中半額ハ政府ノ出資トシ、政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對シテハ年六分ノ優先配當ヲ認ムルト共ニ、政府ノ補給金モ、事業ノ擴大セララルニ伴ヒ自然之ヲ増加セネバナラヌコトニナリマス、即チ現在同法第二十六條ノ規定サレテ居リマス補給金八百五十萬圓ニテハ不足ヲ生ジマスルノデ、斯カル限度ヲ撤廢シ、每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ、政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込金額ニ對シテ年六分ノ割合ニ達シナイ場合ニハ、年六分ニ達スル迄政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對スル年六分ノ配當金ト、當該營業年度ニ於テ支拂ヒタル社債及借入金ノ利息額ノ合計額ヲ限度ト致シマシテ、第十五營業年度迄政府ニ於テ補給金ヲ交付スルコトトシ、尙其ノ他配當準備金ノ積立及政府ノ所有スル株式ニ對スル配當ニ關シ附隨的改正ヲ爲シ、且從來政府ヨリ交付スル補給金ニ對シ、收支計算上利益トシテ之ニ課稅シテ參ッタノデアリマスガ、此ノ際之ヲ免稅スル等、同社機能ノ強化ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、以上ヲ以テマシテ説明ヲ終リマス、何卒御審議アラムコトヲ切望致シマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 今内務大臣ガ見エマシタカラ、内務大臣カラ御説明ガアルサウデアリマスガ、此ノ際便宜上、日滿

地方稅徵收事務共助法案、及明治四十年法律第二十五號廢止法律案、大正九年法律第五十三號中、改正法律案、三案ヲ議題トシテ御説明ヲ仰ギタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 御異議ゴザイマセヌケレバ、ソレデヤ一ツ内務大臣

○國務大臣(湯澤三千男君) 只今委員長ヨリお話ノゴザイマシタ三案ニ付キマシテ、其ノ概要ヲ私ヨリ御説明申上ゲタイト存ジマス、先ヅ日滿地方稅徵收事務共助法案デゴザイマスガ、近時滿洲國ノ發展ニ伴ヒマシテ、日滿間ノ交通ハ漸次繁榮ヲ加ヘツ、アルノデアリマス、從ヒマシテ地方稅納稅義務者ノ移動致シマスルコトモ累年多キヲ加ヘツ、アリマスノデ、是ガ爲地方團體ハ相互ニ地方稅ノ徵收ニ付キマシテ相當ニ苦慮シツ、アリマスル狀況デゴザイマス、仍テ曩ニ實施セラレマシタ日滿國稅徵收事務共助法ノ例ニ倣ヒマシテ、地方稅ノ徵收ニ付キマシテモ相互囑託ヲ爲シ得ル途ヲ開キマシテ、地方稅ノ徵收上ニ於テ遺憾ナキヲ期シタイト存ジマシテ、此ノ法案ヲ提出致シマシタヤウナ次第デゴザイマス、以下其ノ方法ニ付キマシテ簡單ニ御説明ヲ申上ゲマス、第一ハ、滿洲國側ヘ地方稅ノ徵收ヲ囑託スル場合デゴザイマス、是ハ地方稅納稅義務者ガ滿洲國ニ居住致シ、又ハ納稅義務者ノ財產ガ滿洲國內ニ在リマスル場合ニ於キマシテ、帝國ノ當該官吏又ハ吏員、即チ北海道廳長官、府縣知事又ハ市町村長ト云フコトニナリマスルガ、是等ノ者ハ地方稅並ニ之ニ附隨スル督促手數料、延滞金、滯納金、處分費ニ付キマシテ、本人又ハ財產ノ所在地ヲ管

轄シテ居リマスル滿洲國ノ當該官吏、即チ市長、縣長又ハ旗長デゴザイマスガ、是等ノ者ニ對シマシテ其ノ徵收ヲ囑託シ得ルコトト致シタノデゴザイマス、尙滿洲國ニハ縣旗ノ下ニ我ガ國ノ町村ニ該當スベキ街、村ガアルノデゴザイマスガ、是等ハ未ダ其ノ機能ガ十分デアリマセズ、我ガ國ノ町村ト對等ニ取扱ヒマスルコトノ出來ヌ事情ニアリマスノデ、命令ヲ以テマシテ滿洲國ノ當該官吏、即チ市長、縣長、又ハ旗長ヲ對象ト致シマシテ地方稅ノ徵收ヲ囑託スルコトト致シタノ存ズル次第デゴザイマス、第二ハ、滿洲國側カラ地方稅ノ徵收ノ囑託ヲ受ケマス場合ノ規定デゴザイマス、滿洲國ノ地方稅ニ付キマシテハ、省ノ地方費稅、市稅、縣稅、旗稅、街稅及村稅ガアリマスガ、其ノ納稅義務者又ハ財產ガ我ガ國ニ在リマスル場合、滿洲國ノ當該官吏、即チ市長、縣長又ハ旗長等カラ我ガ國ノ當該官吏、即チ市町村長デゴザイマスガ、之ニ對シマシテ徵收ノ囑託ガアリマシタトキニハ、市町村長ハソレノ當該市町村稅徵收ノ例ニ依リマシテ徵收ヲ致シ、送金ヲ致スコトト致シタノデゴザイマス、此ノ場合ニ於ケル徵收ノ順位、訴訟等ニ付キマシテ規定致シマスルト共ニ、徵收金ノ徵收及送付ニ要シマスル費用ハ、之ヲ所屬市町村ノ負擔トスル旨ヲ規定致シマシタ次第デゴザイマス、次ニ明治四十年法律第二十

五號廢止法律案ニ付キマシテ御說明ヲ申上ゲマス、内外地行政ノ一元化ヲ圖リマスルガ爲ニ、樺太ヲ本年四月以降内地行政ニ編入スルコトトナリマスル處、從來樺太ハ明治四十年法律第二十五號、即チ樺太ニ施行スベキ法令ニ關スル法律デアリマスルガ、之ニ依リマシテ内地ト法域ヲ異ニ致シマシテ、内地ニ行ハレマスル法律ハ原則トシテ樺太ニハ行ハレナイコトトナツテ居ルノデアリマスルガ、今回此ノ法律ヲ廢止致シマシテ、將來公布セラレマスル法律ハ原則トシテ當然樺太ニモ施行セラレルコトト致シマシテ、法律ノ施行關係ヲ内地ト同様ナラシメムトスルノガ此ノ法律案ノ趣旨デゴザイマス、而シテ既存ノ法律ニ付キマシテハ現在樺太ニ施行セラレテ居リマセヌモノガ相當數ニ上ツテ居ルノデアリマス、又施行サレテ居リマスルモノニ致シマシテモ、明治四十年法律第二十五號ニ基ク勅令ニ依リマシテ、土人ニ關スルコト、行政官廳又ハ公署ノ職權ニ關スルコト等ニ關シマシテ、特例ヲ設ケテ居ルモノガ多數デゴザイマスルノデ、是等ニ付キマシテ今直チニ内地ト法域ヲ同ジク致シマスルコトトナリマスル爲ニハ、是等法律ノ全般ニ互リ改正ノ手續ヲ執ラネバナラヌト云フヤウナコトニナリ、又他面尙相當ノ調査準備ヲ整ヘル必要等モアリマスルノデ、本法律中ニ附則ヲ設ケマシテ、既ニ公布セラレマシタ法律及ビ此ノ公布セラレマシタル所ノ法律ノ改正法律ノ樺太ニ於ケル施行關係ニ付キマシテハ、從來ノ通り即チ明治四十年法律第二十五號ノ例ニ依ルコトト致シマシタ次第デアリマス、尤モ樺太ニ施行致シテ居リマスル法律ノ特例ノ撤廢或ハ未ダ施行致シテ居リマセヌ所ノ法律ノ樺太ニ施行致スコトニ付キマシテハ、準備整ヒ次第成ルベク速カニ實施致シマシテ、樺太ノ内地行政編入ノ實ヲ舉ゲタイト云フ考デゴザイマス、最後ニ大正九年法律第五十三號關稅法、關稅定率法及保稅倉庫法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關

スル法律中改正法律案ニ付キマシテ、御說明ヲ申上ゲタイト存ジマス、此ノ度日滿國境地域ニ於キマスル經濟開發ヲ一層促進致シマスルガ爲ニ、鴨綠江水力發電第二次計畫ト致シマシテ著工スルコトトナリマシタ所ノ雲峯及義州ノ兩發電施設ハ國境河川ニ跨ツテ居リマスル關係上、日滿兩國領域間ニ各種工用品ノ頻繁ナル輸出入ヲ隨伴致スノデアリマスルガ之ニ對シマシテ關稅法所定ノ手續ヲ執ラシメマスル時ニハ工事ノ進捗上相當大イナル支障ヲ來スノデアリマシテ、既ニ略、竣功致シマシタ水豐發電所ノ建設ニ際シマシテモ、是ガ爲工事遂行上種々不利不便ヲ經驗致シタ次第デゴザイマス、殊ニ今回建設セント致シマスル雲峯發電工場ニ付キマシテハ、朝鮮側ニ突出致シマシタ滿洲國領土ヲ中心ト致シマシテ施行セラル、ノデアリマシテ、斯様ナ特異ナル地形ニ於キマシテ工事ヲ施工スルニ際シマシテハ其ノ建設用各種材料、機械器具、工事從業者ノ生活物資等ガ鮮滿國境ヲ踰エマシテ頗ル頻繁ニ運搬セラルベキコトハ容易ニ想像スル次第デアリマス、從ヒマシテ今回國境河川ニ跨リマスル設備ノ建設工事ニ必要デアリマスル是等物品ノ輸出入ニ付キマシテハ關稅法ノ適用ヲ免除致シマスルコトヲ、適當ト認メマシテ、第六條ニ第四項ヲ新タニ追加致シマスルト共ニ、現行第六條本文ノ免除區域ニ付キマシテ水口鎮ヨリ約二里下流ノ義州發電所ノ位置ガ含マレマセヌ爲、免除區域ヲ鴨綠江口ニ近イ新義州停車場迄擴張致サントスル次第デゴザイマス、關稅法ノ適用ヲ免除サレマスル物品ニ付キマシテハ國境河川ニ跨ル橋梁、水力發電設備其ノ他ノ設備ノ建設工事ニ必

要ナル物品ニ付キマシテ朝鮮總督ヲシテ現地ノ實情ニ即シマシテ適宜之ヲ定メシムルコトト致シテ居ル次第デアリマス、以上三法律案ニ付キマシテ簡單ニ御說明ヲ申上ゲマシタ次第デゴザイマスルガ、詳細ノ點ニ付キマシテハ御質問ニ依リマシテ御答ヲ申上ゲタイト存ジマス、何卒慎重御審議ノ程ヲ御願ヒ申上ゲル次第デアリマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 恩給法中改正法律案外四件ノ御說明ハ一應終リマシタガ、委員ノ中ニ政府カラ配付サレマシタ參考資料ヲ十分讀ンデカラ質問ニ入りタイト云フ御希望モゴザイマスガ、此ノ際尙資料ヲ必要ト御認メニナル方ハ御申出ヲ願ヒタイト思ヒマス、何かアリマセヌカ

○下條康磨君 恩給ノ負擔ニ關スル最近五箇年位ノ數字ヲ戴ケルト結構ト思ヒマス、ドウ云フ風ナモノデモ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) チョット速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(伯爵堀田正恒君) 速記ヲ始メテ……ソレデハ今日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明日ハ午後一時カラ開會致シマス

午前十時四十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長	伯爵堀田	正恒君
副委員長	男爵關	義壽君
委員		
	公爵山縣	有道君
	子爵大岡	忠綱君
	子爵松平	親義君
	男爵今園	國貞君
	村上	恭一君
	下條	康磨君

國務大臣

內務大臣 湯澤三千男君

政府委員

內閣恩給局長 平木 弘君

法制局長官 森山 鏡一君

內務次官 山崎 巖君

內務省管理局長 竹内 徳治君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

樺太廳長官 小河 正儀君

吉田 茂君

堀切善次郎君

山上 岩二君

昭和十八年一月三十日印刷

昭和十八年一月三十日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局